

第74回日本口腔衛生学会学術大会を開催しました

特別講演

17日(土)午後の特別講演には、「芸術と医療の融合を求めて」と題して、伊集院清一教授(多摩美術大学リベラルアーツセンター)による講演が行われた。精神科医で芸術療法が専門である伊集院先生のご講演は、冒頭の歯科と精神疾患の関わりから展開し、表現精神病理学や芸術療法の精神医学的な背景、風景構成法などの芸術療法の理論的枠組みへと話題が展開された。後半は「天才たちの精神病理学」とのテーマで、病跡学の歴史的背景を解説しながら、19世紀末にウィーンで活躍した、エゴン・シーレの生涯を、彼の画風の転換から解説した。最後に、歯科医療と関連する精神医療の場面は多々あると推察され、自ら歯科医学と精神医学との架け橋になりたいとまとめられた。

教育講演1

18日(日)午前の教育講演1は、「日本口腔衛生学会認定資格のすすめ」と題して、嶋崎義浩教授(愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座)による講演が行われた。現在、本学会に5つある認定資格制度について、また、認定研修機関制度についてお話を頂いた。

教育講演2

18日(日)午前の教育講演2は、「最近の歯科保健医療施策の動向」と題して、小嶺祐子先生(厚生労働省医政局歯科保健課)による講演が行われた。地域の高齢化に伴う歯科医療供給体制の動向について示され、その構築の重要性についてお話を頂いた。

日韓国際交流招待講演

18日(日)午前の日韓国際交流招待講演が行われ、Baekil Kim先生(Professor and Chair, Department of Preventive Dentistry & Public Oral Health, Yonsei University College of Dentistry)による「Biofluorescence in Dentistry: From Dysbiosis to Diagnosis」の講演が行われた。

シンポジウム

今回の学術大会で開催されたシンポジウムは12題だった。

懇親会

17日(土)18時15分から、新潟グランドホテルにて懇親会が開催された。アトラクションとして、湊町新潟の伝統文化である新潟古町芸妓が披露された後、新潟市の郷土芸能の万代太鼓の演奏が行われ、会場は大いに盛り上がり、参加者の間で交流が深められ、楽しい懇親会となった。

本大会開催に際してご協賛を頂いた企業の皆様、ご後援を頂いた新潟県、新潟市、新潟県学校保健会、一般社団法人新潟県歯科医師会、一般社団法人新潟県歯科衛生士会、新潟日报社、また、併催にご賛同頂いた甲信越北陸口腔保健研究会会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

す. 大会の運営をご担当頂きました口腔保健協会の方々, 当日業務をお手伝いして頂いた関係者の皆様に心より感謝を申し上げます.

第 74 回日本口腔衛生学会・学術大会

大会長 小松崎 明

実行委員長 鴨田剛司

準備委員長 小野幸絵